



26人体制になって初めて開催された袋井市民病院問題特別委員会(1月15日)

特別職及び議員の期末手当、一般職の給与・手当・共済費等
(約7,972万円)

給与改定等に伴い増額するものです。

(仮称)地域交流プラザ委託料及び工事請負費(7,418万円)

19年6月の建築基準法改正に伴い、審査期間が延び、今年度中に建築工事の発注ができないため減額するものです。

児童福祉事業費(1,290万円)

被用者及び非被用者児童手当の受給対象者が増えたことにより増額するものです。

保育所管理運営費(6,425万円)

あさば保育園が19年4月1日から認可保育園になったことに伴い、増額するものです。

浅羽遊水池整備事業(6,000万円)

県費補助事業に採択されたことから、事業の進捗を図るため増額するものです。

今回の補正予算は、主に次に掲げる事業等のために1億3,200万円を増額するものです。これにより、平成19年度予算総額は276億8,270万円となりました。

一般会計補正予算

討論

(会派より)

一般会計補正予算に対して

反対する「日本共産党」

今回計上された掛川市・袋井市新病院建設協議会負担金の800万円は、全体予算1,600万円を折半し負担するものだが、この中には、コンサルタントへの委託料が含まれている。委託業務内容は、協議会に対する助言にとどまらず、新病院の内容、規模、建設時期、場所なども含め、基本構想を策定するというものである。基本構想策定のためのコンサルタント委託料ならば、協議会での協議が進み、方向性が示され、市民の合意が得られた後に出されてしかるべきと考える。

賛成する「自民クラブ」

新病院建設については、12月4日の市議会全員協議会で当局から事前に説明を受け、協議をし、了解事項になっている。新病院の建設に向けて、有識者を初め市民の代表、両市の市長、市議会代表、病院長等からなる委員で組織する協議会の初会合が12月26日に予定されている。その協議会の運営経費について両市で同額の負担金を計上したもので、適正であると判断する。